



ゆかりびと

第 13 回

清楓スタイルを世界へ

人々を魅了するダンサーを目指して

ダンスインストラクター

かのう 加納 清楓 さん



▲ UDO JAPAN2023 のソロ部門で準優勝し獲得した、世界大会・アジア大会への出場権

ダンサー清楓さんの活動の様子は、こちらのインスタグラムから。



矢板市で開催するダンス教室の最新情報は、こちらから。



「大きくなって、もしダンスの道を目指したいと思った時は、連絡してほしい」抽選で当選したTRF・SAMさん主催のイベントに参加し、直接スカウトされたのは、清楓さんが1歳半の時でした。大きな音に包まれ、イベント中に泣き出すのではないかと心配していた母の思いとは裏腹に、音に合わせて体を動かしていたという清楓さんを、SAMさんは「即興が面白い」と褒めてくれたそうです。

小学3年生でダンスを始め、ダンスが大好きだった清楓さんでしたが、当時、極度の人見知りだったとか。小学6年生の時、「プロを目指したい」と相談された母は、心配心から「卒業イベントのステージで、踊ることができたら」と条件を提示しました。見事、その時の学校関係者約900人の前で踊り切った清楓さんの姿を見て、10年前、SAMさんからもらった連絡先に電話をしたと言います。夢は、「世界で認められるダンサーになること」。そう話す清楓さんは、昨年、UDOWORLD（ストリートダンスの世界大会）への出場権をかけたUDOWORLD JAPAN（日本予選）で準優勝を果たし、今年8月、イギリスで開催される世界大会へ挑みます。「ここまで成長できたのは、支えてくれた家族や地域のおかげ」と、最近では、さくら市や矢板市でダンス教室を開催するなど、ダンスの楽しさを伝える活動も始めました。

得意とするジャンルは、ハウス・ダンス。テンポが早く、難易度が高いステップが特徴です。SAMさん直伝のステップを武器に、さまざまなテンポの曲に、軽やかに合わせることで得意な清楓さん。清楓さんのステップは、いよいよ世界へ飛び出します。

Editor's Note 編集後記

▷3月頃から準備してきたYAITA-JINが形になり、うれしい限りです。きっかけくれた金澤さんとたかひしさんは、とても気さくなお人柄で記事作成の相談までお付き合いいただきました。感謝です。まさか自分も表紙に載る日が来るとは思いませんでした。(DYC)

▷明るくておもしろい清楓先生ですが、負けず嫌いなストイックさもあってよくて魅力的でした。ハードなスケジュールの中でも毎日筋トレや柔軟を欠かさず、トレーニングの鬼と呼ばれているそうです。長座体前屈マイナス記録保持者の私でも変われますか…? (あ)